

編者と執筆者の紹介

田中樹 (たなか うえる)

総合地球環境学研究所・客員教授、ベトナム・フエ大学名誉教授。専門は、環境農学、土壌学、地域開発論。アフリカやアジアの在来知に学び、人びとの暮らしと資源・生態環境の保全が両立するような技術や生業を創り出す研究に取り組んでいます。

石本雄大 (いしもと ゆうだい)

青森公立大学・地域研究センター・研究員。専門は、生態人類学、アフリカ地域研究。アフリカ半乾燥地や日本の過疎地域において生業(なりわい)と食の研究に取り組んでいます。

渡邊芳倫 (わたなべ よしのり)

近畿大学農学部・研究員。専門は、土壌学、環境保全型農業。山から水田までの農地環境から効率的で持続的に利益を得るにはどうしたらよいか?をテーマに、森林や田畑の環境とその管理方法を研究しています。

記事への謝辞：この記事のもととなった調査の際には、ナイジェリアの研究所、政府機関および住民の皆様大変お世話になりました。

95

清水貴夫 (しみず たかお)

広島大学教育開発国際協力研究センター・研究員。専門は文化人類学、アフリカ地域研究。アフリカの子ども、特にストリートで生活する子どもやクルアーン学校に通う子どもたちに着目し、西アフリカ社会の諸相を明らかにすることに関心を持っています。

記事への謝辞：この記事は、総合地球環境学研究所「砂漠化をめぐる風と土と人」プロジェクト、および科研費(25770312)の成果の一部です。

荒木良一 (あらかき りょういち)

和歌山大学・教育学部・准教授。専門は、植物育種学、植物栄養学。肥料成分の輸送メカニズムや植物の有用成分に焦点を当てた研究に取り組んでいます。

記事への謝辞：この記事は、科研費(26300015)の成果の一部です。フィールド調査で出会ったタミルナードゥ州(インド)の人々に感謝します。

石山俊 (いしやま しゅん)

国立民族学博物館・プロジェクト研究員。専門は、文化人類学。アフリカ、サハラおよびその南縁における地域構造の研究、アフリカ・アジア乾燥地域を中心とした生業に関する研究、地域社会における「篤農家」の役割に関する研究をしています。

宮崎英寿 (みやざき ひでとし)

総合地球環境学研究所・外来研究員。専門は、境界農学、環境土壌学。アジアやアフリカにおいて家畜糞尿を介した牧農共存のあり方に関する研究、国内外において雑穀研究、日本の農家レストランに着目した研究活動に取り組んでいます。

記事への謝辞：この記事は、総合地球環境学研究所「砂漠化をめぐる風と土と人」プロジェクト、および科研費(24251005)の成果の一部です。

桐越仁美 (きりこし ひとみ)

東京外国語大学・現代アフリカ地域研究センター・特任研究員。専門は、アフリカ地域研究、地理学、生態人類学。西アフリカの人びとの自然資源利用における協力関係や商業上の信用形成に関する研究に取り組んでいます。

記事への謝辞：フィールド調査では、Dandagoum 村と Kuoli 村のみなさんにお世話になりました。この記事は、総合地球環境学研究所の研究プロジェクト「砂漠化をめぐる風と人と土」、国土地理協会第12回学術研究助成「西アフリカ・サヘル帯における砂漠化問題と在来知識にもとづいた新しい砂漠化防止対策の検討」および科研費(13J02096)の成果の一部です。

遠藤聡子 (えんどう さとこ)

内閣府大臣官房企画調整課野口英世アフリカ賞担当室・主査。専門はアフリカ地域研究。アフリカのプリント更紗「パーニュ」を用いた衣服とそれを作る仕立屋のように、アフリカの文化と、それを支える人の仕事に関心があります。

記事への謝辞：本稿の主人公アジズ・ジゲムデさんをはじめ、ボボジュラソの仕立屋さんたちにお世話になりました。記して謝意を表します。

96

神代ちひろ (くましろ ちひろ)

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科博士課程。専門は、アフリカ地域研究、文化人類学。ブルキナファソの農村において、開発プロジェクトやマイクロファイナンスの利用、自ら金融活動や菜園の経営をおこなう女性グループが、個人個人の生活の中でどのような役割を果たしているのかを明らかにする研究に取り組んでいます。

柴田誠 (しばたまこと)

京都大学大学院地球環境学堂研究員(2018年3月まで)、新潟食料農業大学助教(2018年4月から)。専門は、土壌学、環境農学、生態系生態学。アフリカ・アジアの熱帯林やそで行われる農耕活動について農学・生態学的手法を用いて調べています。

記事への謝辞：フィールド調査の際には、Dieudonne さんや Germain さんをはじめ、Andom 村の方々にお世話になりました。この記事は、科研費(13J06387、24228007)および SATREPS 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム「カメルーン熱帯雨林とその周辺地域における持続的生業戦略の確立と自然資源管理：地球規模課題と地域住民ニーズとの結合」の成果の一部です。

角野貴信 (かどの あつのぶ)

公立鳥取環境大学・環境学部・准教授。専門は、土壌学、生物地球化学。炭素循環過程の解明と、持続可能な土壌資源管理の研究に取り組んでいます。

記事への謝辞：この記事は、科研費(21405039、21255011)の成果の一部です。

砂野唯 (すなの ゆい)

名古屋大学大学院生命農学研究科リーディング大学院ウェルビーイング in アジア実現のための女性リーダー育成プログラム・特任助教。専門は、地域研究、環境学、食文化、醸造学で、アフリカやアジアにおける環境と歴史、食文化のつながりについて研究しています。

記事への謝辞：フィールド調査では、村の皆様にご多大のお世話になりました。この記事は、財団法人日本科学協会笹川科学研究助成(2009年度)および科研費(15K16188)の助成を受けて実施された調査の一部です。

大門碧 (だいもん みどり)

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科・特任研究員、北海道大学国際部・特定専門職員。専門は、地域研究、都市人類学。アフリカ都市の暮らしに、エンターテイメントをつくりだす様子からアプローチしてきました。調査地であるウガンダの首都カンパラの人びと、私の家族でもあるウガンダの人びと、そして現在の生活場所であるザンビアの首都ルサカの人びと、みなにいつも私は生かされています。

97

遠藤仁 (えんどう ひとし)

人間文化研究機構 総合人間文化研究推進センター研究員、秋田大学国際資源学研究科(現代中東地域研究拠点)客員研究員。専門は民族考古学、物質文化研究。南アジアや中東の伝統的な生業技術や物質文化を記録し、どのように後世に残せるかという研究に取り組んでいます。

記事への謝辞：この記事は、総合地球環境学研究所の研究プロジェクト「砂漠化をめぐる風と人と土」および科研費(26760014)の成果の一部です。

寺田匡宏 (てらだ まさひろ)

総合地球環境学研究所・客員准教授。専門は、歴史学、メタヒストリー。歴史や記憶の立場から環境をどう語る(叙述する)かに関心を持っています。